

2002年11月5日
2002-222

無線 LAN 環境におけるセキュリティをワンストップで確保する

無線 LAN ソリューション「Secureplaza/WLAN」の提供開始

日立製作所 情報・通信グループ(グループ長&CEO:小野 功、以下、日立)は、このたび、企業、大学・病院・空港・自治体等のコミュニティ、プロバイダ等で構築が進んでいる無線 LAN 環境での、ユーザー環境に必要なセキュリティを、コンサルテーションからシステム運用・監視までワンストップで提供する無線 LAN ソリューション「Secureplaza/WLAN(セキュアプラザ ワイヤレスラン)」を11月6日から提供開始します。

インターネット技術の普及に合わせ、無線 LAN 利用で企業内ネットワークにアクセスする要求が高まっています。無線 LAN 環境では、特に、電波漏洩/盗聴対策等のセキュリティ確保が最大課題となっています。既存ネットワークを大きく変更せず、既存の LAN 環境と無線 LAN 環境を融合するネットワークソリューションと不正アクセス防止や高度な認証技術等のセキュリティソリューションが求められています。

今回提供する「Secureplaza/WLAN」は、ユーザーの無線 LAN 環境に必要なセキュリティをトータルに提供します。扱う情報の機密度、利用形態、無線 LAN の導入目的やシステムセキュリティポリシーと合致したシステムを構築し、システム全体のセキュリティレベルを確保できる無線 LAN 環境を実現します。特に無線 LAN のセキュリティで重要な電波傍受による情報盗聴対策では、暗号強度の高い製品や IPsec(*1)を活用したサーバと端末間の通信を暗号化する製品を適用しセキュリティレベルを確保します。また、ユーザー認証では、不正ユーザーのネットワーク侵入や情報アクセス防止をするために、PKI(*2)活用によりアクセスする者の身元を確認する認証システムの提供に加え、個人認証機能を搭載したセキュアマルチメディアカードを活用することにより認証情報自体も保護します。

■「Secureplaza/WLAN」の特徴

最新の日立製品や他社流通品等を活用した無線 LAN ソリューションをコンサルテーションからシステム運用・監視までワンストップで提供します。

(1)漏洩電波の解析をより困難にする無線 LAN アクセスポイントの活用

54Mbps の高速ネットワークに対応し IEEE802.11a に準拠した無線 LAN アクセスポイント「5GHz 無線 LAN システム」を使い、従来の 64/128bit に加え 152bit の WEP(*3)キー(暗号キー)機能に対応します。また、クライアント毎に別々の WEP キーを設定可能です。これにより、無線 LAN システムでの漏洩電波の解析をより出来にくくし、情報盗聴を困難にします。

(2)LAN の事前設定の簡易化と認証処理の効率化

LAN スイッチ「日立ハイセキュリティ LAN システム」を使うことにより、無線 LAN からネットワークへ接続する際、ユーザー認証とネットワーク認証を同時に実現します。さらに無線 LAN におけるセキュリティを確保するために必要となる事前の無線 LAN アクセスポイントへの MAC アドレス(*4)の登録作業や端末側への専用ソフトウェアのインストールなどの作業を不要とします。これにより、認証処理の効率化を図ります。

(3)認証情報や機密情報の保護を強化

個人認証機能を搭載した「PIN(*5)セキュアマルチメディアカード」を使用し、カード内にクライアント端末の認証情報や特に機密性の高いコンテンツを暗号化して記録します。また、情報の有効期限設定やアクセス回数制限の設定も可能です。これにより認証情報や機密情報をパソコンなどの本体とは別にセキュアに管理することが可能となります。更に、外部からの不正な読み出しに対しては、カード自体が壊れることでセキュリティを確保します。

(4)マルチベンダ環境に対応したシステム構築

無線 LAN 内蔵 PC「FLORA シリーズ」、無線 LAN 内蔵 PDA「携帯情報通信端末(NPD-10JWL)」や、他社の無線 LAN 製品を活用し、ユーザーのニーズに合ったシステムを構築します。

この他、IP プロトコルでの SSL(*6)や IPsec の適用、ID・パスワードに代わる IEEE802.1x での電子証明書適用や IC カード・指紋等の生体情報を利用した認証基盤構築まで、幅広くセキュリティの強化を実現します。

また、日立では、無線 LAN 信号を使った端末位置検出機能を利用し、端末の位置を正確に把握する事(誤差 1~3m、設置条件による)で、エリア毎に利用可能な端末を限定する技術を開発しました。本技術を利用した無線 LAN 環境におけるセキュリティ対策製品の実用化をすすめており、2003 年度より関連のセキュリティソリューションを提供する予定です。

- (*1) IPsec = IP Security Protocol: IP ネットワーク網で情報を暗号化し通信するためのプロトコル
- (*2) PKI = Public Key Infrastructure: 公開鍵を利用した認証基盤
- (*3) WEP = Wired Equivalent Privacy: 無線 LAN システムで標準的に利用されている暗号化技術
- (*4) MAC アドレス = Media Access Control アドレス: 装置ごとに設定されたデータを送受信するためのネットワーク機器番号
- (*5) PIN = Personal Identification Number: 個人を認証するための ID ナンバー
- (*6) SSL = Secure Sockets Layer: Web で主に利用されている暗号化通信を実現するプロトコル

■Secureplaza について

日立は、1999 年からユーザーに必要な情報ライフラインのセキュリティをワンストップで実現するセキュリティソリューション「Secureplaza」を提供しています。「Secureplaza」は段階的に導入できるように、セキュリティメニューを 9 つのステップに分類しています。ユーザーのセキュリティレベルに合わせて必要なステップだけを選択することも出来ます。

ステップ	内容
Step0	基本方針となるセキュリティポリシー策定
Step1	不正なアクセスを防御するファイアウォール
Step2	通信路を暗号化する VPN(Virtual Private Network)
Step3	アクセス者の身元を確認する認証システム
Step4	不正アクセスを検知・通報する不正アクセス監視
Step5	Web・メールをフィルタリングするコンテンツ監視
Step6	各種セキュリティツールを効率的に管理する統合運用管理
Step7	セキュリティの状態を定期的にチェックする監査・教育
Step8	万が一の際の金銭的な保証を担保する保険

■Secureplaza ホームページ

<http://www.hitachi.co.jp/secureplaza>

■「Secureplaza/WLAN ソリューション」価格と提供時期

11月6日より、個別見積りで提供します。

■他社商品名称等に関する表示

- ・マルチメディアカード: MultiMediaCard(TM)は、独 Infineon Technologies AG の商標であり、MCA(MultiMediaCard Association)にライセンスされています。
- ・その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

■取扱事業部・照会先

株式会社日立製作所 情報・通信グループ セキュリティソリューション推進本部
 セキュリティソリューション室【担当: 中野、山田】
 〒212-8567 神奈川県川崎市幸区鹿島田890 日立システムプラザ新川崎
 電話: 044-549-1679(ダイヤルイン)

■報道機関お問合せ先

株式会社日立製作所 情報事業統括本部 経営企画部 広報グループ【担当: 下村】
 〒101-8010 東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地
 電話: 03-5295-1682(ダイヤルイン)

以上

このニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。
発表日以降に変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。
